

魚豊本人が企画に全面協力！

新連載の制作過程にも立ち会うことができる、かつてない展覧会

「魚豊十周年展 UO10.」

YURAKUCHO MUSEUM（東京・有楽町）にてこの冬開催！

2026年12月19日（土）～2027年2月23日（火・祝）



累計発行部数 570 万部を突破し、2026 年 9 月 14 日に連載開始 6 周年を迎える『チ。—地球の運動について—』や、劇場アニメーション映画化で話題を呼んだ『ひやくえむ。』など、数々の話題作を生み出してきた漫画家・魚豊。壮大なテーマを描き出す独自の着想力に加え、読者を引き込む巧みな構成や演出、作品の根底にある深い思考や問いかけは、多くの読者を魅了しています。

この度、魚豊のデビュー10周年を記念した初の作家展「魚豊十周年展 UO10.」を、YURAKUCHO MUSEUM にて開催いたします。

魚豊自身が主催として参加する本展では『ひやくえむ。』『チ。ー地球の運動について』『ようこそ！FACT（東京S区第二支部）へ』の3作品を中心に展開。構想の起点から、原画、ネーム、作品を形づくる思考や独自の世界観演出に至るまでに積み重ねられた創作の軌跡を紐解きます。

さらに、会場には魚豊の仕事場も出現。実際に本人が新連載の制作を行うこともあります。そこで生み出された作品は会場に順次展示をしていく予定です。数々の思考が線となり、物語へと変わっていくその過程にリアルタイムで立ち会える、かつてない作家展です。

チケットやオリジナルグッズの販売情報など、展覧会の詳細は10月に公開予定です。

魚豊 コメント



漫画家デビュー10年間展です。

漫画家デビュー10年と言っていますが、私個人の経験ではもう少し長く、おそらく初めて漫画のようなものを描いたのは小学1年生のコピー用紙で、そこから小2で暇つぶしに自由帳に書き、投稿を始めたのは13歳でした（当初、勝手に分からず漫画用原稿ではなく、活字の原稿用紙で投稿しました。）そこから、19歳の2017年に商業誌デビューさせていただき、以来10年間漫画を描いたり描かなかったりする生活が続いております。

10年なんて業界では若輩者で、日々分からないことばかりですが、1つだけ、漫画を描くのは楽しいという確信はあります。もちろん楽しくない事、メンドい事も(というかその方が)多いのですが、漫画を楽しくやれてる時の喜びは、人生の他のどの喜びにも勝っています。

今回、私も含めたチームで、その喜びとは何なのかを考えました。

そして「作家展」という立て付けではありますが、態度としては、作品の内側だけではなく、ちょっぴりとだけ、その外側も表現出来ればと思いました。

例えば、創作とは常に誰かの頭の中にある「情報」と、それを支え受け止める「^{インフラ}基盤」の合体により出来上がります。

物理書籍の場合、木が切られ、紙になり、そこに情報が載る。

それが何らかの形で流通し、読者に届く。

さらに「作る人」「売る人」「読む人」は固定ではなく、それぞれが入れ替わりながらシーンを形成する。

重要なのはこれらの一連は、誰でも参加可能な"凡庸"な行いであるという事。

(しかしその凡庸さは、さまざまな背景が重なり合って、辛うじて生じた"平和"という状況で成立する"奇跡"である事)

そしてそれが、孤独でいられる喜びと、孤独でいながら、^{世界}他なる世界を感じられる喜び、つまり"漫画を描くという喜び"の正体の一端であると考えました。

展示会に来てくださる人の9割(?)くらいは漫画を書いたことがないと思います。

でもその行為は手軽で安価で刺激的であるという事を、身近に感じていただければ、幸いに思います(といっても。そういった外側の展示はホントちょっぴりとだけ！9割はちゃんと作品の展示だよ！)

それでは、ご来展楽しみにしております！

魚豊

魚豊 プロフィール



1997 年生まれ。東京都出身。13 歳から投稿を始め、2018 年 11 月に『ひゃくえむ。』で連載デビュー。20 年 9 月に『チ。一地球の運動について』の連載を開始。同作は「マンガ大賞 2021」第 2 位や「このマンガがすごい！」2022 オトコ編 第 2 位ほか、多数の漫画賞で上位に選ばれ 22 年 4 月には「手塚治虫文化賞」マンガ大賞を史上最年少で受賞。シリーズ累計発行部数は 570 万部を超える大ヒットシリーズとなり、22 年 4 月に完結。24 年 10 月からは NHK 総合にて TV アニメが放送され大きな話題となった。さらに『ようこそ！ FACT（東京 S 区第二支部）へ』も続けて連載し、24 年 2 月に完結。

「魚豊十周年展 UO10.」開催概要

主催	魚豊、魚豊展製作委員会
会期	2026 年 12 月 19 日（土）～2027 年 2 月 23 日（火・祝） ※2027 年 1 月 1 日（金）は休館予定
会場	YURAKUCHO MUSEUM (〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 東京国際フォーラム地下 1 階) https://yurakuchomuseum.jp/about/
営業時間	10:00～20:00（金・土・日・祝は 21:00 まで）
展覧会公式サイト	https://uo10.jp
展覧会公式 SNS	
X	https://x.com/UO10_exhibit
Instagram	https://www.instagram.com/uo10.exhibit/

YURAKUCHO MUSEUM（有楽町ミュージアム）について



アートや音楽、働く人や遊ぶ人、多くの人や文化が行き交う東京・有楽町。東京国際フォーラムの中に生まれる新しい展示空間「YURAKUCHO MUSEUM」は、大小 2 つのギャラリースペースを自在に使い、訪れる人が新たな作品や表現と出会えるさまざまな展示やイベントを実現していきます。人と作品がつながり、広がっていく「はじまり」のミュージアムです。